



# AMITEC ランニングソーを中心とした生産システム効率化のご提案

お客様のニーズ

- ・物件対応の少量多品種生産。
- ・必要なものを必要なだけ、毎日注文。
- ・短納期・ジャストインタイムで納品して欲しい。

9:00 受注

電子メール  
FTP(ファイル転送)  
など、インターネット経由で  
当日の注文データを受信

データ管理ソフト

- ・内容確認
- ・寸法補正
- ・ロット分割
- ・データ変換等  
(カスタマイズ可)

9:05

- ・配置計算
- ・指示書印刷
- ・切断データ作成
- ・ラベルデータ作成
- ・原板管理

ACOS(配置計算ソフト)

9:10

事務所

・工場の運用に合わせた各種の方法で、データの受渡が可能。

切断データ受渡

QR付指示書

USBメモリ



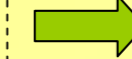
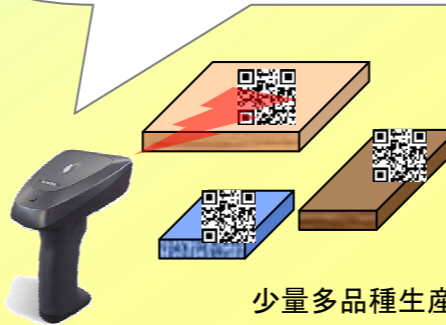
LAN接続



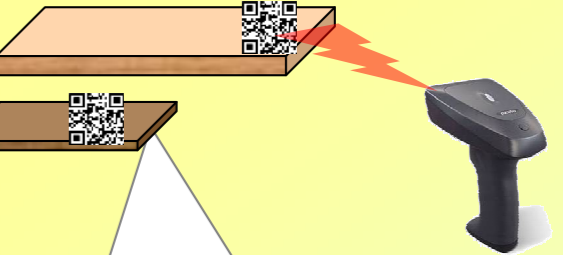
工場(後工程)

・加工プログラム番号、図面番号、サイズ等の情報をラベルに印刷し、後工程の自動化を実現します。

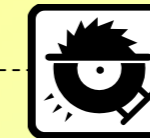
少量多品種生産の効率アップ



出荷

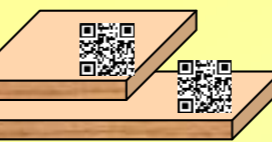


- ・バーコードで注文番号、出荷先などをチェック。
- ・出荷実績のデータ収集。



・切断しながら、加工情報バーコード付きの部材ラベルを印刷、貼付け。

工場(切断)



ランニングソー

ラベルプリンタ

9:15 切断開始

・注文を受信してから、自動切断を開始するまでの時間が非常に短くできます。(実際の時間は処理内容・運用方法などによって異なります)

・切断データを読み込んだランニングソーは高速・正確に切断作業を行い、切断順に印刷されるラベルを貼りつけることで、後工程での仕分けや加工が簡単になります。(ラベルデザインや情報のバーコード化は御社の生産方法に合わせて自由にカスタマイズが可能です) ※詳細は別紙をご参照ください。



- ・ランニングソーによる切断工程は原板が個々の「製品」へと変わる生産上の重要ポイントです。また、受注から切断開始までの時間を短くすることは、後工程の手待ちを減らし、生産全体の効率を高めるためにも重要な課題です。
- ・一方、少量多品種の製品を歩留り良く配置した切断パターンでは切断順序が複雑化し、後工程での仕分け作業などが煩雑化します。これらのことから、切断工程を中心としたデータ運用の効率化とバーコードラベルなどの各種生産ツールの活用が、受注から出荷までのトータルな生産効率化には必要不可欠です。
- ・アミテックでは、豊富なランニングソーの納入実績と経験から、御社の生産方法に合わせた切断システムと生産効率化の提案をさせていただきます。